

佐賀新聞記事目録年表（六）

八田, 千恵子
佐賀新聞社

<https://doi.org/10.15017/13641>

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として. 7, pp.142-147, 1976-10-15. エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：



佐賀新聞記事目録年表 (六)

八 田 千 恵 子

西暦年号	月 日	頁	記 載 収 録 事 項 (県内)	記 載 収 録 事 項 (国際・国内)
明治十七 (二八八四)	十二・十六	1.	○雑報 ■県令各部長の出張 (佐賀郡犬井童村へ相揃ひて出張せられしは加地子事件ためなりとの風説) ■樟井藤吉より社への書翰 ■貨幣偽造犯への裁判言渡書	○官令 ■明治十二年度歳出入決算報告書 (太政官) ○長崎県録事 ○清仏彙報
		2.		○雑報 ■朝鮮の変動 ■高知県で基督教布教せし者あり、同県令痛く憂慮せらる ■英国の不景気 ■石見立憲改進黨は討議の末形而下の団結を解くことに決す ■小笠原島学況 ■米国で銀貨鑄造中止の議案 ■英国海軍拡張 ■倫敦は製造所の多き土地なれば黒煙空を掩ひて、日光の洩映せしは一日僅か二時間四十分の割合なりしと ■海底電線の増加 ■朝鮮商況及歳入
		3.	■江藤新作の姓名を騙り金銭物品を詐取せる者有り ○正誤 ■当らぬ前よ (※九日付神埼郡衛生委員選挙) 取消要求文 ○社説 (朝鮮ノ暴挙)	
		4.	○寄書 ■物価論 (曲江漁夫)	○長崎県録事 ○清仏彙報
	十二・十八	1.	○佐賀県録事 ■明治十九年以降其年四月一日より翌年三月三十一日までを以て会計一週年度と被相定候 (乙第百八拾九) ■神仏教	○雑報 ■北極遠征家ノルデンスクヂヨルド

務所、説教所は国並宗派に分ち半年毎に現数を届出べし（乙第百九拾） ■管内約束郵便物は来十八年一月分より三ヶ月毎に差出すべし（乙第百九拾三） ■鈴木亀太郎編輯「民要日記」発売指止め（甲第百拾七） ■国税金納順序一部削除（乙第百九拾五） ○雑報 ■県会議堂、迎賓館新築事務所を松原町市中仕組所内に設ける ■本紙の朝鮮事件報道を読んだ血気の士が家永部長の許に推掛け「七年の失敗あり、一昨年の失望あれば此時社特別の請願を遂げ間師の先鋒となり朝鮮地下に於て七年戦死者に相見ん」と迫る。又、先憂義会は与賀馬場光照寺で臨時集会、先鋒請願一条を協議す

故殺未遂犯への裁判言渡書

2. ■生徒の苦情 ■窃盗 ■芋田案の原因 ■車屋の嘆息 ○社説 ■論河水改良 ○寄書 ■吊黎元翁文（縁木漁夫）

3. ○佐賀県録事 ■中川市五郎「農家日用便覧」発売差止（甲第百拾八）

1. ○雑報 ■中島準は従七位に叙位 ■江口知英は藤津郡下宿村尾上峠実測のため出張 ■宿営中の熊本鎮台砲兵聯隊長は江間孚通、大隊長は福田経之 ■佐賀新聞編輯長 其 筋に召喚され、今後朝鮮交報に係る事項を掲載せんとする時は、東京各新聞より摘録を除く外その原稿を差出し允許を受くべしと演達せられき ■官印盗用官文書偽造及び詐欺取財犯の弁護代言人に米倉経夫、同共謀犯の代言人に野田常貞

は南極遠征の準備中 ■各地の英語伝習準備

■米穀予算及び米価騰貴の情勢 ■露国虚無党の処刑 ■露、土両国の関係 ■発行停止の自由燈は解停に

○官令 ■明治十二年度歳出入決算報告書（太政官） ○長崎県録事

○雑報 ■参事院の秘密会議は、天災に加ふる年毎の不景気のため地租税金を代米納に改正せらるる協議の由 ■欧州各国上院論 ■日韓貿易章程 ■十七年十一月中大坂造幣局にて鑄造されし貨幣の合計は三拾七万五千七百七拾七円 ■比耳義国（※ベルギー）国内閣の更迭 ■戈登將軍の死生如何 ■奸悪

十二・二十

3. 知らぬが仏の坊さん○社説（明治十七年ノ事ヲ記ス）○寄書
■忍字ノ説（福岡・縁木漁夫）

2.

○雑報■県官出張（渡辺簡は蜂の巣炭山へ、矢田進は水産取調のため東西両松浦郡へ）■佐賀郡犬井道村の旧佐賀藩加地子一件は内務省の処分を経て着着はしたれども、未だ内情は折合はざるため、鎌田県令、大河平警部長、家永佐賀部長、渡並庶務課長、武田勸業課長、西原佐賀郡書記が説諭のため出張■基肆郡木山口駅に砂防工営事務所を設け、白元山より砂の下りて千年川の支流に址入せるを防がんため砂止めに着手す

3.

■佐賀郡東湍村岸川平佐衛門の新築地堅めに集まりたる村民潮の湧く如し■寝耳に水でなくして寝惚に糞■蘆町の大騒ぎ○社説（明治十七年ノ事ヲ記ス）○寄書■忍字ノ説（福岡・縁木漁夫）

1.

○佐賀県録事■海軍下士以下旅行証票規則（乙第百九拾式）

十二・二十一
（日）

2.

○雑報■金井大書記巡回より帰庁■県官例会親睦会は楊柳亭で開かれた■杵島郡小田志小学校の永石友一、樋渡常作、樋口亥吉の三少年は才智不群■明治七年の先輩亡友の招魂碑建築の廻草

の報恐るべし（魯国）

■旧自由党員村松愛造拘引さる■巴里人馬肉を喰ふ■利息騰貴

○官令■明治十二年度歳出入決算報告書

（太政官）○長崎県録事○清仏彙報

○雑報■日比谷練兵場へ太政官新築計画

■英国海軍の拡張■武術取締規則を設けらるる由■忍びの視察■小銃の改良■亜細亚学館外務省直轄となる■選挙権拡張議案の可決（英国）■愛知自由燈は黄金新聞と改題準備のため年内は休刊す■鹿児島新聞は解停■印度の猛獣

○官令■明治十二年度歳出入決算報告書

（太政官）■清仏彙報

○雑報■荻侍従は宮内省より実地風災貧民の状況視察として九州各県を巡回中■宮、工、司三省の官吏の沙汰■朝鮮暴徒彙聞

■延引し居る日本の条約改正会議（ベル、メル、パツジェット新聞）■亜細亚学館

■英国海軍の拡張■欧州各国上院論

十二・二三

3.

■馬耳東風連の亀鑑■恐れようが甚し■姦夫騒動■正誤■蘆町の大き騒ぎ(※二〇日付)取消○社説(明治十七年ノ事ヲ記ス)○寄書■書生ニ望ム(曲江漁夫)

1.

○雑報■福岡県警部補松見安太郎は佐賀県に転任■廿一日多久茂族病没■願正寺で、議堂迎賓館新築委員、紳商百余名で相談会■警部の殴打創傷事件の裁判言渡書(無罪)■佐賀新聞社株主総会は、十九日、北堀端宗竜寺に於て諸案を議決

2.

3.

■水ヶ江町字片田江の混堂開業の請求■杵島郡築切村千布喜左エ門は草綿を郡内一致改良せんと奔走勸奨中■切腹とは余りだ○正誤■生徒の苦情(※十八日付)取消要求文○社説(明治十七年ノ事ヲ記ス)○雑報■書ズモ哉(無腸醉史)

○佐賀県録事■海軍下士以下旅行証票規制(乙第百九拾式)

十二・二四

■租税不納等により公売処分田畑買ふ者なきゆえに近く其処分方法を定められる

○官令■明治十二年度歳入出決算報告書(太政官)■大審院裁判所職員考績条例(司法省)

○長崎県録事○清仏彙報

○朝鮮事変飛報(※全文削除)○雑報■井上外務卿、朝鮮事変について臨機の処分■朝鮮事変につき内閣会議■石井義一、前田儀作、木下八太郎、飲山惟誠らの国会開設短縮建白への奔走■朝鮮事変につき長崎表へ外務官派出■横浜碇泊中の金剛艦出発準備■朝鮮事変の影響で大阪、神戸等は銀貨、米価、その他諸物価騰貴す■旧琉球藩士黒党二名清国に脱せんとす■英国海軍拡張

○官令■海軍省技術官月俸表を一部改正(太政官)■海軍の機関部、軍医部、主計部条例相定む(海軍省)■医務局相廃し軍医本部と相改む(同省)■大審院裁判所職員考績条例

2.

○雑報 ■ 任免 (高柳良次は収税属に、小川司馬太郎は警部補に、静岡県警部補高木俊雄は本県警部補に。江頭宗四郎は雇差免) ■ 申付けらる (小川司馬太郎は佐賀警察署詰、上野担は酒造検査発督員、宮部作之助は相知分署長に) ■ 基肆養父三根三郡特置上等轟木鳴泉小学校の開校式と石井翼郡長の祝詞 ■ 二十三日測候所廃止 ■ 故殺犯への裁判言渡書

3.

犬と猫の角力 ■ 本父姦夫を殺す (養父郡) ○ 正誤 ■ 先憂会の集会 (※十八日付) 取消 ■ 教導職狂買となる (六日付) 取消要求文 ○ 社説 (明治十七年ノ事ヲ記ス) ○ 寄書 ■ 銷金城ハ何ソ独リ福利ヲ専有スルヤ (在栄陽 鎮西十郎)

1.

○佐賀県録事 ■ 明治十八年三月より六月まで第十五回博覧会を開設し、出品の京都会場からの返戻運搬費は該会社より支弁候様可致 (告八拾四)

2.

○雑報 ■ 江口知英は杵島郡内国道平原峠実測に出張 ■ 鎌田県令は楠神社祠宇建築費として宅百円を義捐す ■ 村島彦五郎は師範学校書記に任ぜられ月俸八円 ■ 中学校の月俸 (山羽武八郎は三拾円、大庭景竜は貳拾五円、野中義昌は拾貳円、山嶺利貞は拾円を申付られたり) ■ 県会議堂新築議案は満場賛成 ■ 佐賀の壮士が願正寺にて何か事を議する由、何故にや ■ 轟木上等鳴泉小学校開校式での村山舒賀郡書記の祝詞

(司法省) ○長崎県録事 ○清仏彙報 ○朝鮮事変要報

○雑報 ■ 国会議事堂新築の地質調査に着手 ■ 海軍省で四条例を定む ■ 東海鎮守府 (横浜) を移転し、横須賀鎮守府と改称 ■ 土陽新聞社の窮民賑恤義捐金募集広告及び貧民救助活動

■三州設楽郡新城丸山講徒蜂起

○長崎県録事 ○清仏彙報 ○朝鮮事変要報

○雑報 ■ 聖上九州地方へ御巡行の噂 ■ 福島県令に赤司欽一 ■ 丹羽竜之助は独逸国皇帝陛下より赤鷲等三等勲章を贈与さる ■ 鹿児島県壮年士族四十余名が長崎、博多より大急にて上京す何故にや ■ 伊豆七島は農商務省管轄に属せられるやの風説 ■ 銀貨、定期米の気配 (大坂新聞) ■ 減債方法及び金札引換公債証書代として支消せし紙幣合計三百八万五千五百円を焼却す ■ 長崎区に麻疹病

	十二・二八 ※号外					
十二・二九 ※号外		1.	2.	3.	4.	1. ■六歩の争ひ費用百円（藤津郡久間村）○社説（明治十七年ノ事ヲ記ス ※大部分削除）○雑録■悪年ヲ送テ看官ニ謝ス（無腹醉史） ○寄書■歳暮ノ憂（曲江漁夫） ○雑報■昇給拝命（坂田源三、鶴善作、長谷川為吉、中島十太郎、江頭智一、山口袈裟八、村島七郎、守田宗治、相原安造、副島利三郎、栗並寿太郎、林一蔵、佐野切郎、下村常保）■県庁、警察本署は御用仕舞 ■丸三銀行閉店 2. ○雑報■拝命増給（増田幸吉は小城郡書記に、徳永甚内は藤津郡書記に。相知醇吾、西村初一、松崎寛之は増給）■横山萬里兵事課員は上京 3. 流行 ■名古屋警報 ■鬚髯の風説 4. ○朝鮮事変要報 ○朝鮮事変要報 ○正誤 ■九州御巡行（※二十五日付）取消